【リモート合奏】地域における合唱・合奏活動「リモートコラボレーション」の実証研究

#合唱・合奏活動 #オンライン #リモート化支援 #地域活動 #健康づくり #介護予防 #リモートコラボレーション
#生涯学習 #生きがいづくり #区民協働事業

新型コロナの影響で多種多様な地域活動の自粛を余儀なくされています。代表研究者は港区健康づくりサポーターや介護予防リーダー活動に取り組んでおり、活動を休止したり、大幅に縮小せざるを得ない地域活動の状況を目の当たりにしています。長年ITサービス業に従事し、新規事業で培ってきた先進的な技術の知見を活かして、オンラインでの地域活動をより推進するための方法について実験を通じた研究を行いました。本研究では、特に感染予防の観点から再開に向けたハードルが高い「合唱・合奏や健康呼吸法」の地域活動において、ノートパソコンやスマホ、タブレット等モバイルツールを駆使した「リモートコラボレーション環境の最適化」について仮説検証しました。現在普及しているオンライン会議ツールでは、ミーティングは殆ど問題ありませんが、一緒に歌ったり、合奏するといった活動には限界があります。そうした中、オンライン上でも音声遅延や通信ロスを低減するアプリやソフトウェアで、誰でも簡便に遠隔で活動できるための仕組みを、研究者たちが属する楽団「健康長寿楽団 みなと」を通じて実験しました。主に実験ツールとしては、無料の演奏アプリ「SYNCROOM」を採用しました。港区民間施設・民間住宅をつなぎ、度重なる実験の結果、「光回線有線LAN接続ノートパソコン」「ポケットWi-Fiタブレット」「5Gスマホ」の環境による2拠点でのリモート演奏が、音声遅延や通信ロス等ネットワーク負荷が少なく、品質の条件が最も安定しました。実験のを通じ、健康づくりや介護予防を目的とした場合、リモートの演奏に参加できない方々にむけて、Zoomで当日イベントの映像配信、SNSを駆使した映像音声の録画録音のデジタル情報共有（タイムラグへのサポート等）も、リモート合唱合奏を支援する補完的な重要ツールであることがわかりました。

これらの実証結果を活用し、新たに区民協働事業による地域文化共創企画を次年度に向けて具現化する予定です。すでに本研究の活動を通じ、芝会議地域コミュニティ部会と新たな交流が生まれ、オンラインによる地域コミュニティの醸成の一助として、「リモート合唱合奏コラボレーション」のフィールド実装を推進中です。また、「健康増進・介護予防・生きがいづくり他」に関わる、以下の様々な区民協働事業に本研究成果を活用することになりました。

① 健康づくりサポーター（港区きらきらプラザ: 健康長寿楽団みなと）
② 社会教育サークル（港区生涯学習センターばるーん: 童謡唱歌の会）
③ 介護予防リーダー（港区介護予防総合センターラクっちゃ: サロンAKY）
④ 高齢者サポーター（港区神明いきいきプラザ: ジャズボーカル講座）
⑤ 芝会議地域コミュニティ部会有志（港区区民協働スペース：はっぴい♪しば）

今後、芝地域公共施設（含芝公園等の野外会場）を活用した「リモート合唱合奏コラボレーション」を率先垂範し、子供から高齢者まで健常者も障害者も多世代の区民によるみんなと社会参加できる活動（地域文化共創イベント）の支援をしたいと考えています。